

毎月、皆様のお役に立てる情報をお届け致します。



ネクスコ東日本・仙台東管理事務所様に バイオ燃料供給・災害協定締結！

みなさんこんにちは社長の千田信良です。暑い日が続きますが皆さんいかがお過ごしですか？ヒートアイランド現象やゲリラ雷雨と地球温暖化が原因とみられる異常気象が続いております。川の氾濫や土砂崩れ等、多くの被害が全国各地で起きております。何とか国民一人一人の力で温室効果ガス削減に向けて頑張っていきたいものです。

そんな災害緊急時の命の道である高速道路を管理するネクスコ東日本・仙台東管理事務所様とバイオ燃料供給協定を結ばせて頂きました。

ネクスコ東日本・仙台東管理事務所様は津波で被害を受けた仙台市の沿岸部や名取、岩沼を通る仙台東部道路、常磐道を管理しています。東日本大震災時には仙台東部道路が防波堤の役割をし多くの人命を救いました。そうした重要な役割のある仙台東部道路の維持管理やパトロールを行う車両にこの度バイオディーゼル燃料

(B5)を日常より供給することになりました。

私はこの度の災害協定締結にあたり、「志の高い」皆さんとの出逢いに感謝しました。ネクスコ東日本・仙台東管理事務所様の新しい事務所を訪問して参りましたが、防災に対する心構えはもちろん、平日頃の皆さんの取り組む姿勢に感銘を受けました。

なにしろ皆さん活き活きと誇りを持って業務に動いている事。東日本大震災時にも全国から救援に来る車両が東北道を北上してきました。でこぼこに寸断された道をいち早く復旧し多くの被災者の命が救われました。やはり人命を預かる高速道路管理の重要性を再確認しました。

この度、千田清掃もそのメンバーに加えて頂くことになりました。大変身の引き締まる思いです。世のため・人のため・地球のために活動し続けることによって多くの「ご縁」に恵まれ感謝しております。

やはり「志を高く持ち行動する」ことによ

って多くのご縁や学びがあると思います。「成功の反対は失敗ではない！何もしないことだ！」

千田清掃は現在40名程の職員が働いております。まだまだ未熟な企業ですが、志を同じにする者が集い、地球温暖化問題、環境問題、エネルギー問題、働く女性や高齢者雇用等の労働問題、東日本大震災復興の課題等、積極的に関わりながら壁にぶち当たり。心が折れそうになりながらも職員と語り合い一步一步前進しております。

まだまだ道半ば。いやまだ始まったばかり！大変長く苦しい道かもしれませんが、決して逃げずに取り組んで参ります。一番大切なものは「心をつにする一人一人の努力」に尽きると思います。どんな嫌なことも私は積極的に絡んで参ります。皆さんどうぞよろしくお祈りします。



代表取締役 千田 信良
chida nobuyoshi

昭和42年7月生
東海大政治経済学部卒
趣味は食べ歩きと温泉。
姉は女優の杜けあき。

発行 有限会社 千田清掃
〒989-6254 宮城県大崎市古川狐塚字西田77番地
電話 0229-27-3151 ファックス 0229-27-3155
<http://www.clean77.jp>

ベンリー宮城古川店
電話 0120-808-878 <http://fukurawa.benry.com>

こんにちは。夏本番ですね！8月といえば、夏祭りやお盆の時期。

皆さん、熱中症にならず快適な夏をお過ごし下さいね。

さて、最近、植木の剪定の問合せが殺到しております。

庭木もぐんぐん伸びる時期、皆さんのお宅の庭木はいかがでしょう？

今月号は、基本的な庭木の時期や手入れについて載せます。参考にしてみてください。

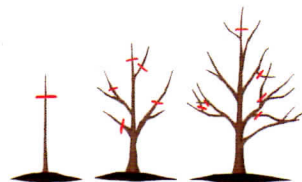


剪定名	基本剪定	軽剪定
針葉樹	4～5月	10～11月
落葉樹	11月中旬～2月	7月中旬～8月
常緑樹	5～6月	9～10月

一般に、常緑樹、針葉樹は新芽が出る前か、新葉の生長が一段落して新枝がある程度固まった頃、落葉樹は葉が落ちたあとの休眠中に基本剪定を行います。そして、繁茂した枝葉を整え、花後の手入れをするのが軽剪定です。剪定の適期は庭木や植木の種類や生長段階によって違うので、それぞれの樹木の生育サイクルに合わせた剪定を行うことが大切です。ただし、早

すぎる剪定や剪定の量が多すぎると、かえって不要な枝を増やすことがあります。特に、真夏は樹木の体力が落ちやすい時期なので、基本剪定はできるだけ控えるようにしましょう。

樹形を美しく保ち、樹木の健康を守る上で、切り落とした方がよい枝のことを「忌み枝（いみえだ）」といいます。せっかく伸びた枝を切るのに抵抗のある方もいるかもしれませんが、これらの枝はすでに役目を終えた不要な枝で、残しておくとし樹木その生長を妨げます。剪定後は、枝ぶりが寂しくなったように感じますが、しばらくすると以前より生き生きとした姿になるので心配しなくても大丈夫ですよ。下記に、忌み枝8種をご紹介します。



1. 徒長枝（としょうし）

勢いが強く、伸びすぎた枝のことです。樹形を崩し、美観を損ねます。



5. からみ枝

他の枝や幹からみつくように伸びた枝のことです。放っておくと、枝同士がこすれて傷みやすくなります。



2. 立ち枝（たちえだ）

徒長枝の1種で、横に広がらず、垂直にそびえ立った枝のことを指します。特に幹や太い枝から生え、放っておくと樹形を乱し、株に負担をかけます。

6. 交差枝（こうさえだ）

幹やほかの枝と交差するように伸びた枝のことです。自然な枝ぶりを妨げるので、枝元から切り落とします。

3. 平行枝（へいこうし）

ごく近い場所から同じ方向に伸びた上下2段の枝のことです。見た目が単調な印象になるので、いずれかを切り取るか、長さを調節します。



7. 幹吹き（みきふきえだ）

幹の途中から伸びた細い枝のことで、胴吹きとも呼ばれます。養分をとられて樹勢が弱くなるので、早めに切り落とすことがポイントです。

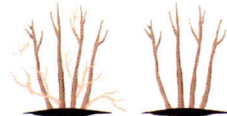
4. 逆さ枝（さかえだ）

自然な枝の流れに逆らい、違う方向に伸びている枝です。庭木の種類によっては残す場合もありますが、基本的には枝元から切り落としてしまいます。



8. ヒコエバ

根元や地中から勢いよく伸びた若い枝のことです。春～夏に多く、主幹の勢いを弱くしてしまいます。



植木の事に関して
ご不明な点がありましたら、
お気軽にお問合せ下さい

